

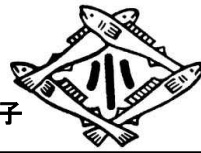
学校だより 1月号

こあゆ

◆厚木市立小鮎小学校 ◆児童数493名 ◆学校長 土屋健司 ◆平成27年1月23日発行

意欲的に学び、たくましく 思いやりのある鮎っ子
～しっかりペンきょう げんきで やさしく～

- ☑ 根気強く考える子
- ☑ 明るく元気な子
- ☑ 豊かな心で思いやりのある子



学校生活の様子



3学期が始まり、2週間がたちます。学校では、いろいろな活動が始まりました。

始業式

8日(木)始業式がありました。元気な子どもたちが、学校に戻ってきました。



年頭所感

明るく元気に頑張れる子になるように励ましを

校長 土屋 健司

3学期が始まりました。まだ小さいとはいえ、春の七草がもう道端に顔を出しています。節分、そして立春。子どもたちにとって巣立ちの「春」、節目の「春」は、もうすぐそこまで来ています。

6年生は卒業に向けて、学習も間もなく、まとめの時期に入ります。卒業式に向けて歌の練習はすでに始まっています。卒業に向けて、落ち着いて自分のペースで、しっかりと小学校生活の総仕上げをしてくれたらと願っています。

2月2日には、4月に本校に入学する新入学児童の保護者説明会があります。1年生は、4月に入学式で後輩を迎える準備です。2年生は、4月からは社会・理科・総合的な学習の時間・毛筆も勉強します。3年生は4月からはクラブ活動も始まります。4年生は4月からは外国語活動や家庭科も学習します。委員会活動も始まります。5年生は、いよいよ小学校の最高学年として学校を引っ張っていきます。登校班の班長さんや委員会やクラブの委員長や部長になって活躍する子も多くなります。

子どものがんばりをしっかり励まして、自信をもって学習や体力づくりにがんばれる子どもにしていきたいものです。そして、人に笑顔で接することのできる表情明るい元気な子ども、そして、将来は前向きにしっかりと努力できる大人として成長していてもらいたいものです。

校庭では、2学期の持久走に代わって、子どもたちは、3学期は縄跳びをして冬の体力づくりに励んでいます。まず体力。本年も、保護者の皆様、地域の皆様のさらなるご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

ベルマーレ巡回授業

13日(火)に4年生のベルマーレ巡回授業がありました。当日は、ベルマーレのコーチが子どもたちを指導してくれました。スポーツの楽しさを伝えるために授業では様々な工夫が凝らされていました。

書き初め大会

9日(金)～16日(金)の間に各学年で、書き初め大会を行いました。

- 1年 } 硬筆
 - 2年 }
 - 3年 光るにじ
 - 4年 世界の子
 - 5年 強い信念
 - 6年 創造する心
- を書きました。



音楽朝会

13日(火)の音楽朝会では、「おどるポンポコリン」の曲に合わせて、1・2年、3・4年、5・6年が違ったリズムに分かれて、全校でボディパーカッションを行いました。子どもたちがよく知っている曲なので、子どもたちも楽しく取り組むことができました。



かわってきた人々の暮らし

3年生の社会科で、昔の道具について学習し、実際に洗濯板を使って洗濯をしました。



中1から小6へのメッセージ

15日(木)小鮎中学校の代表が小鮎小学校に来て、中学校生活のことや6年生に向けての言葉を贈ってくれました。立派に成長した中学生を見て、6年生は、卒業に向けて気持ちを新たにしました。



自分の命は自分で守れる力を

インフルエンザが猛威を振るう季節になりました。学校では、教室の換気や加湿、手洗い・うがいを呼びかけるなどインフルエンザの予防対策・指導を随時行っています。でも、休み時間が終わって外から汗びしょりで帰ってきた子どもの中には、汗を拭くハンカチがない子、「うがい手洗いは？」の問いに「忘れた。」とあわてて流しへ行く子がいます。ふだんから2枚持っているはずのマスクが必要な時になく、友だちに借りる子も目にします。これで本当にインフルエンザを予防していると言えるのでしょうか？

ヘルメットを持ってはいても面倒なので着用しないで自転車に乗っている子、危ないとわかっていても廊下を走って人にぶつかってしまう子など、ほかにもわかっているのに行動に結びついていない例はいくつかあります。

だれもが安心して生活し、心身ともに健康でありたいと願っています。学校生活も同じです。しかし、子どもたちを取り巻く環境には、地震・台風などの自然災害や交通事故をはじめ、不注意からのけが、病気など健全な学校生活に支障をきたすような危険が潜んでいます。学校では、こうした危険に子どもたち自身が気づき、回避できる力～自分の命は自分で守れる力～を付けたいと願っています。そのためには、安全や健康についての意識を周りの大人が高くもって子どもたちに接することで、子どもたちの意識も高まると考えます。

学校では今年度、年間を通じて、体験を通じた安全指導や自分の生活を振り返る機会を取り入れた保健指導を計画的に、継続してくりかえし行ってきました。少しずつ安全や健康に対する意識が高まってきたように感じます。

当たり前に行動できるようになるためには、学校での指導とともにご家庭での声掛けがとても重要です。「ハンカチ持った？」「マスクはいれてある？」に加え、「汗をかいたらふくんだよ。」「咳が出るときは、エチケットとしてマスクをするのよ。」といったさらに踏み込んだ声掛けもいただくとより具体的でわかりやすいと思います。



いざという時に自分で考え、良い方法を選び、安全に行動して初めて自分の命を自分で守る力が付いたといえます。

学校は、今後も実際に想定した訓練や健康を考える機会を設け、継続して指導していきます。各ご家庭でも大事なお子さんの命を守るため、くりかえし適切な声掛けをお願いします。学校もご家庭とともに健やかな子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

最後に、自転車乗車時のヘルメット着用率については、ご家庭やPTAのご理解ご協力をいただき、昨年11月現在98.6%に達しました。しかし常に100%でなければならないことです。引き続き着用指導を行っていきます。ご家庭での声掛けをよろしくお願いいたします。

健康安全教育担当 総括教諭

学校生活の様子



児童朝会

20日(火)の児童朝会で学級委員の紹介がありました。一人一人自己紹介とどんなクラスにしたいかを発表しました。



高齢者疑似体験

15日(木)4年生が福祉体験教室を行いました。装具を身に着けて、高齢者疑似体験をして、高齢者の気持ちや自分たちが高齢者と接するときの接し方について考えることができました。



昔遊び

21日(水)に1年生の生活科「むかしのあそびをしよう」で、地域のしあわせクラブのみなさんに昔の遊びを教えてくださいました。その後、児童と一緒に給食を食べました。冷たい雨の降る寒い中、学校に来てくださいましたしあわせクラブの皆様、ありがとうございました。



あいさつ運動

毎朝、職員が正門とたんぼぼ坂に立ち、あいさつ運動をしています。あいさつ運動をさらに盛り上げようと、1月19日(月)からは子どもたちもあいさつ運動をすることになりました。2～6年生の児童が曜日を決めて取り組みます。